

電気電子工学委員会URSI分科会
エレクトロニクス・フォトンクス小委員会
(第25期・第2回)

議 事 録

1. 日 時 令和4年6月28日(火) 10:30～12:00
2. 会 場 遠隔会議(主催会場:京都大学生存圏研究所篠原教授室)
3. 出席 篠原、國分、保立、伊藤、楳田、門、川西、菅野、戸田、永妻、原、富士田、寶迫(敬称略)(13/17)
4. 議 題
 - (1) 議事要旨の提出に関する委員長一任について
 - (2) 25期 URSID 小委員会の 2022 年度の活動について
 - (3) URSI AT-AP-RASC2022 開催報告
 - (4) URSI JRSM2022 の現状報告と講演者について
 - (5) URSI General Assembly 2023 @ 札幌 の現状について
 - (6) その他
5. 配布資料
 - 資料1: Commission Coordinating Activities Meeting @ URSI AT-AP-RASC 2022
 - 資料2: JRSM2019-CommDプログラム
 - 資料3: Brain Storming of Sessions for GASS2023
6. 議事
 - (1) 出席の25期委員自己紹介が行われた。
 - (2) 議事要旨の提出に関する委員長一任について
日本学術会議のガイドラインに基づき、議事要旨を委員長に一任することとなった。
 - (4) 25期URSID小委員会の活動について(資料1)
 - (5) URSI AT-AP-RASC2022開催報告(資料1)
 - ・ 資料1に基づき、2021-22年のURSID小委員会の国際/国内の活動報告と、2022年度の活動予定について紹介があった。
 - ・ 報告の中でURSI AT-AP-RASC2022の開催結果について報告があり、日本から7本の発表と4本のワークショップ講演があったことが報告された、Commission D全体としては例年より少なめの60件の発表があったことが報告された。
 - (6) URSI JRSM2022の現状報告と講演者について(資料2)
 - ・ URSI JRSM2022が2022年9月1-2日に中央大学で開催予定であり、D小委員会としてはセッションとして「Photonics」「Electronics」の2つをすでに提案済であることが報告された。
 - ・ D小委員会として1名の招待講演を推薦する必要がある、招待講演者について議論

を行い、候補者の選定を行った。会議終了後講演の打診を行うことが了承された。

- ・提案セッション「Photonics」「Electronics」では各5名の講演者が必要であるため、招待を含め発表者に関する議論を行い、複数の候補者をあげた。会議終了後講演の打診を行うことが了承された。
- ・Poster Sessionでは学生コンテストが実施されることも紹介され、学生の発表が期待されることが報告された。
- ・JRSMがリアル開催か、ハイブリッド開催かは現時点では未定である。

(7) URSI General Assembly 2023 @ 札幌 の現状について (資料3)

- ・URSI GA2023@札幌の準備状況について説明があった。
- ・URSI GA2023@札幌は予定通り2023/8/19 – 26に開催される。国内開催であるため、D小委員会及び日本の関係者の貢献が期待される。
- ・GAにむけてのスケジュールが紹介され、7/10がsessionのpreliminary listの締め切り、10/5がsession、workshop、tutorial提案の締め切り、2023/1/20頃が論文投稿締め切りであることが紹介された。
- ・資料3のsessionのpreliminary listを元に、各sessionのconvener候補や、新しいsession提案等について議論を行い、案をブラッシュアップした。今後案に基づき、sessionとconvenerについて打診していき、listを確定していく予定である。

(文責 篠原)

以上